

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	中国語運用演習		
英文授業科目名	Intermediate Practical Chinese		
開講年度	2009年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	松岡 格		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
songgange@gmail.com	

【主題および達成目標】
<p>本授業は簡単な日常会話、初級文法、基本文型を学んできた学生を対象にした授業。これまで学んできた中国語の基礎知識を復習しながら、新出語彙を学習して、さらに高度な中国語文を読み取る。それだけではなく、中国の文化や世情も理解できるレッスンにしたい。「中国語演習」と同様に、読む、書く、聞く、話す練習を重ね、総合的な力を養うことを目標とする。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
<p>中国語第一、中国語第二。</p>

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
<p>中国語演習。</p>

【教科書等】
<p>教科書：楊光俊など著『すぐに使える中国語 レベル2—忘れられない日々』郁文堂</p> <p>辞書：履修者には、辞書の持参を強く薦める。</p>

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業内容とその進め方】

前期と同じ教科書を使い、教科書の後半に入る。やはり1.5週間から2週間で1課を終えるペースで進める予定である。まずは、本文の朗読、文法の説明を中心にして、履修者に本文などを訳出してもらう。次に、練習問題を中心に、基礎文法の定着を確認し、作文まで進む。この後期の授業では、簡単な会話を作成して発表してもらう機会を設ける予定である。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

授業の予習は特にいらないが、復習は大事にして欲しい。
まず、授業で出てきた会話文の発音をマスターするように、自分でも繰り返し練習してほしい。
次に、授業で出てきた文法事項の解説が十分に理解できたかどうか、よく整理してほしい。わからない点が出てきたら、授業の前後に積極的に質問してほしい。
これらの内容は、授業中に行う小テストでもチェックをする。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

授業中の発言・回答、小テストの成績、出席状況、期末テストなどを総合的に評価する。

出席率が足りないものには単位を与えない。

【オフィスアワー：授業相談】

授業の前後に教室で行う。

【学生へのメッセージ】

積極的に学習する態度が望ましい。語学の勉強には毎日の復習、予習が欠かせないもので、授業日以外の日にも予習、復習してほしい。

【その他】

特になし。